

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡手づくり村振興事業			事業コード	0547
担当課等	所属名	商工観光部 商工課	担当係名		
	課長名	商工観光部商工課長 沼田 秀彦	担当者名	熊谷 朋宏	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	まちに活力を与える工業の振興	コード 2
	基本事業	中小企業の経営力の強化	コード 4	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 盛岡手づくり村振興事業 (003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 昭和61年度～)					
事務事業の概要	盛岡手づくり村への来場者増加、地場産品の売上向上、地場産業振興、地域人材の確保と要請を目的に、盛岡手づくり村の管理主体である(財)盛岡地域地場産業振興センター、各工房の活動を支援すると共に、盛岡手づくり村内の市有施設の維持管理を委託する。					
根拠法令等	無し					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和61年盛岡手づくり村開設以来、(財)盛岡地域地場産業振興センターに盛岡手づくり村の市有施設の維持管理を委託している。当財団は、盛岡地域の地場産業振興を目的として設立されており、盛岡手づくり村の運営主体のひとつである。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
盛岡手づくり村は、本市における地場産業の拠点、観光拠点として一層の整備が求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
盛岡手づくり村施設は、建築後20年以上経過しており、修繕を要する箇所が頻発している他、地場産業振興センターの公益法人制度改革への対応とともに今後見込まれる大規模修繕や設備の更新に対する資金支援など計画的及び重点的な予算配分による取組が求められている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 来場者数	単位	人
			B. 市有施設維持管理費	単位	千円
			C. 振興センター運営費補助金	単位	千円
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 契約等事務手続き	単位	式
			B. 臨時的修繕等への対応回数	単位	回
			C. 振興センターとの各種打合せ等	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 来場者数の前年比較 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	%
			B. 振興センター運営費補助金の前年比較 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	%
			C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	経営改善等研修会の参加者数(商工会議所、商工会など)(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	来場者数	人	506517	515974	535000	486115	535000	535000	年度
対象 指標B	市有施設維持管理費	千円	4302	4260	4474	4408	4474	4474	年度
対象 指標C	振興センター運営費補助金	千円	48200	45000	45000	45000	45000	45000	年度
活動 指標A	契約等事務手続き	式	2	1	1	2	1	1	年度
活動 指標B	臨時的修繕等への対応回数	回	2	0	2	2	2	2	年度
活動 指標C	振興センターとの各種打合せ等	回	38	47	30	45	50	30	年度
成果 指標A	来場者数の前年比較	%	94	102	104	95	110	110	年度
成果 指標B	振興センター運営費補助金の前年比較	%	107	100	100	100	100	100	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	58,634	55,264	59,708	59,093	61,330	51,250	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円		4,005	8,261	8,259	10,080		*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	58,634	51,259	51,447	50,834	51,250	51,250	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	58,634	55,264	59,708	59,093	61,330	51,250	*****
	延べ業務時間数	時間	500	500	500	500	500	500	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	60,634	57,264	61,708	61,093	63,330	53,250	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 手づくり村の活性化が地場産業界の経営力強化ひいては中小企業の経営力強化につながると考えられる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 手づくり村は、盛岡地域の中小企業の振興及び観光振興に必要不可欠であるため。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 手づくり村の運営状況を把握することが一番と考えられる。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 来場者の増加や即売室の売上増が直接、地場産業界の経営力の強化につながる。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 手づくり村の来場者増を図るための事業等の実施を行うことによって成果が向上する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 入居工房の死活に関わるとともに、地域地場産業に与える影響が大きく、また市の観光に対する影響も大きいと考えられる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 事業費自体は地場産業振興センターの運営の効率化や収益性の向上により削減できる可能性がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 手づくり村の運営強化を図るためには、市として支援するための会議等への出席が不可欠であるため。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 盛岡手づくり村は、市、地場産業振興センター及び協同組合手づくり村の三者で運営しており、受益者である当該三者による協議等を行い、適正な運営を行っているため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公益的事業として相応の負担をしている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <p>盛岡手づくり村はものづくり地場産業の拠点施設とともに観光拠点施設として重要な役割を担っており、これを維持・発展させるため、地場産業振興センターの運営支援を継続し、センター公益法人制度改革への対応を進めていくなかで、公益事業の拡大や今後見込まれる施設の大規模修繕及びリニューアルを検討していく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>盛岡手づくり村の重要な役割を担う施設の維持や今後見込まれる大規模修繕及びリニューアルを想定した資金調達方針に課題があることから、地場産業振興センターとともに研究を行っていく。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>季の猛暑や東日本大震災の発生など経済環境が厳しい中、経営改善に努めたが、成果目標を下回った。今後、経営の健全化を早期に実現し、施設老朽化や公益法人改革への対応も含めて更なる努力が必要である。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>経営基盤の安定化を図るため、センターや組合、盛岡市が連携を深め、センター職員の志気を引き出し、施設の強みを発揮する事業を強力に進める。</p>													